



Monthly Report

ホームページ <http://www.takamatsu-south-rc.com/>

2023 - 2024

世界に希望を生み出そう



RI会長：ゴードン R. マッキナリー 会長：熊田 浩 幹事：住田英樹

例会場/JRホテルクレメント高松3階「玉藻の間」 毎週水曜日 12:30~13:30

世界に希望を生み出そう

2023-24年度

5月8日 第40回

日時/令和6年5月8日(水)12:30~

場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶

会長 熊田 浩

2週間ぶりの例会ですが、ゴールデンウィークは如何でしたでしょうか。先週の例会は、クラブ定款に定めのある「その週に祝日が含まれる場合」例会を取りやめることができるという規定により休会としました。今年度の例会数は47回になりますが、この規定を柔軟に適用し、例会数をもう少し減らしても良いのではと、個人的には思っております。さて、本日は香川大学ローターアクトクラブの活動報告ですが、香川大学ローターアクトクラブは、当クラブの提唱により1974年（昭和49年）8月14日にRIの認証を受け、今年創立50周年となります。最近ロータリーの青少年奉仕プログラムの一つという扱いから、RIに加盟するクラブとして、奉仕活動の実行部隊としての役割を期待されています。学生クラブなので、会員の活動期間は2年から3年ですが、提唱クラブとして彼らに適切な助言を与え支援する事が我々の務めです。青少年奉仕委員会のみならず以外にも多くの会員にローターアクトの活動を理解していただければ幸いです。

卓話

香川大学 RAC 桑原 悠 会長

香川大学RAC（ローターアクトクラブ）年間活動報告



これから香川大学RAC年間行事報告をさせていただきます。

香川大学RACは、1974年8月14日に創立されました。香川大学RACは今年で創立50周年という節目の年です。何か記念イベントなどを開催しようとは思っていますが、未だに何をしようか悩んでいます。スポンサークラブは高松南RC様です。会員数は現在60人です。

年間行事報告です。4、5月はお試し例会をしました。お話し例会とは、1年生がRACとはどういう活動をしているのか知ってもらうためのイベントです。

例会は毎月2回開催しています。月一清掃も開催しました。香川大学幸町キャンパス内や大的場海水浴場や、サンポート付近を清掃しました。4、5月は1年生歓迎月なので、清掃活動を3回ほど開催しました。6月の幹部交代式では、先輩の宇野会長の代から、私たちの代に交代しました。また6月には地区大会で松山に行きました。7月のさかいで塩まつりは、坂出駅目の前の広場で開催されました。さかいで塩祭りではキッチンカー

や、お祭り参加者の車の誘導や、チラシ配りなどのボランティア活動をさせていただきました。またフードバンクの受付もさせていただきました。またステージにも登壇して香川大学RACについて軽く紹介させていただきました。8月は夏祭りのボランティア活動が多かったです。9月は一泊二日で小豆島に夏合宿に行きました。10月は学祭に参加しました。香川大学RACでは焼きそばの販売をしました。RACの屋台があります。焼きそばの味は絶品でした。また高松クリーンデーにも参加させていただきました。こちらは高松南RCの皆様とサポートの清掃活動をしました。次に11月は、徳島に一泊二日で地区大会に参加しました。12月には高松南RC様主催のクリスマス家族会に参加させて頂きました。また、忘年会も開催しました。久しぶりに会う先輩たちもいらっしゃってとても楽しい思い出になりました。3月には一泊二日で、神戸大阪に合宿に行きました。1日目はVSパークのセットをモチーフにしたテーマパークで遊びました。晩ご飯はお好み焼きを食べました。2日目にはネスタリゾート神戸に行きました。こちらも運動系の施設でした。バンジージャンプをしたり、アスレチックをしたり、ゴーカートに乗ったりして、楽しみました。卒業式にも参加しました。先輩一人一人に色紙とお花をプレゼントしました。さらなるご活躍を期待して、笑顔で見送りました。とても感動的な卒業式でした。以上で年間行事報告を終了します。

最後に今後の予定をお伝えします。5月の末日に本新歓を開催します。6月2日には女木島清掃に行きます。6月8日~9日には25人を引き連れて、地区内交流会に参加します。そして6月27日に幹部交代式を行なって、私たちの代が形式上引退ということになります。

ご清聴ありがとうございます。

ニコニコ箱

三木会員「香川第一分区分交流ゴルフコンペで何も貢献しなかったにもかかわらず、賞品を頂戴しました。ありがとうございます。」

吉田(直由)会員「お誕生日のお祝いありがとうございました。最後の30代がんばってロータリー活動貢献をしていきたいと思ひます。」

田中(弘)会員「誕生日プレゼントありがとうございます。」

今城会員「55才になりました。ギアを上げてがんばっていきます。」

岡(隆)会員「誕生日祝いありがとうございます。ぼちぼち頑張ります。」

詫間会員「遅れてすみません。」

計¥12,000 合計¥469,800

会員掲示板

- メークアップ/4名
- ピジター/0名

ロータリーソング
「国歌、四季のうた、バースデーソング」
ソングリーダー「三木会員」

2023-24年度

5月15日 第41回

日時／令和6年5月15日(水)12:30～
場所／JRホテルクレメント高松

会長挨拶 会長 熊田 浩

日曜日に住田幹事とともに坂出ロータリークラブの創立70周年記念行事に出席しました。読売テレビの「そこまで言って委員会」でおなじみだった辛坊治郎さんの記念講演がありました。本人は「海洋冒険家」と名乗っていましたが、講演内容もヨットに関するものが中心でした。辛坊さんは2021年にヨットによる単独・無寄港の太平洋往復横断を成功させていますが、講演では2013年の海難事故を中心に話されていました。御存じの方も多いと思いますが、辛坊さんは2013年、盲目のセーラー岩本光弘さんと二人で福島県小名浜港を出港、5日後、宮城県気仙沼市金華山沖1,200kmの太平洋上でヨットがマッコウクジラと衝突し遭難しました。海上自衛隊の純国産の海難救助飛行艇（US-2）により救出され、九死に一生を得ましたが、生還できたのは奇跡の積み重ねで「自分はまわりの皆さんに生かされている」と実感しているそうです。テレビ報道出身の辛坊さんは、自らの大失敗を語ったわけですが、報道というのは「失敗」を伝えるもので、聞く側はこの「失敗」に想像力を働かせ、自分の事として捉え、失敗を繰り返さないようにして欲しいと強調されていました。一例として、福岡と静岡で2年連続発生した「バスにおける子どもの置き去り死亡事故」について、後から起きた静岡の事故は、当事者が前年の事故に対し、想像力を働かせ、自分の事として捉えていれば、防げたのではないかと、報道関係者としての忸怩たる思いを語っていました。「失敗」が起こるのはやむを得ません。大切なのは、「失敗」の情報を共有し、当事者以外の人々が、想像力を働かせ、他者の「失敗」を自分の事として捉え、同じ「失敗」を繰り返さないようにする事です。簡単なようで難しい事ですが、「失敗」の情報を共有し、社員一人ひとりが再発防止について当事者の身になって考えるように、繰り返し訓練をする「仕組み」をつくるのが経営だと思えます。まずは、「失敗」が隠れないようにする事。どんなに大きな「失敗」でも失敗した人を責めず、いたわる事。頭ではわかっている、つい社員を責めてしまいがちですが、じっとこらえてゆくのが、トップの務めだと思えます。組織全体で失敗に学ぶ強い組織を作りたいと思えます。

客 話

高松市環境局次長兼環境総務課長 藤田晃三 様

高松市の環境の取組～脱炭素型のまちづくりに向けて～



高松市の脱炭素型のまちづくりの推進に向けた取組について御紹介させていただきます。

本市では、2020年12月に、2050年までに市内の二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの実質排出量をゼロにすることを目標に『ゼロカーボンシティ宣言』を行いました。その実現に向けて、市民の皆様にも、環境について意識してもらい、身近でできることから取り組んでいただけるよう、本市環境局が中心となって、様々な啓発活動や事業を行っています。

例えば、脱炭素と環境に良い取り組みの推進に賛同していただける個人や団体の募集・登録を行っております。これは「脱炭素型ライフスタイル（デコ活）推進リーダー」として、個

人、団体、事業者を募集・登録をするものでございます。本市が指定する環境学習講座を受講していただくと登録できますので、是非お申込みください。

また、国が推奨する「ゼロカーボンアクション30」という取組を、機会があるごとに周知し、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要であることを啓発しています。このアクションは、身近な清掃活動やマイボトルの利用など、日頃から皆様を取り組まれていることばかりで、何か新たに負担をお願いするようなものではございません。私たちの身近な取り組みが、ゼロカーボンシティの実現に寄与するということを、是非知っていただきたいと存じます。

その他、市民の皆様が環境問題を自分事として関心を持っていただき、脱炭素型ライフスタイルを推進していただくため、環境学習制度の充実に力を入れております。特に、未来を担う子どもや若い世代の方たちに、身近な環境問題が自分たちの未来にも大きく影響してくることを伝えるとともに、今すぐにもできる取り組みについて、考えていただくきっかけづくりとして、フィールドワーク型、参加体験型の環境学習メニューを提供しております。

特に、街の中でポイ捨てされたプラスチックごみが、水路から川へ、川から海へと流れて、やがては海底や海岸に溜まっていくことを知っていただき、実感してもらえよう、男木島、女木島などでのビーチクリーンアップを継続しております。

また、海とは逆に塩江の山中に入り、木や森の水環境保全を含む役割や重要性を体感してもらう学習機会を提供するなど、毎回大盛況で、特に子どもたちや若い親たちの反応には嬉しいものがあります。

皆様にも脱炭素型のまちづくりの推進に向けて、引き続きのご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

ニコニコ箱

田中(秀)会員「誕生日のお祝いをいただき、ありがとうございます。これからもヨロシクお願い致します。」

大橋会員「テニスの全国ジュニア選手権県予選が5/12(日)に県営生島コートで行われ、孫の向井浩人(小学4年・9才)は10才以下男子シングルスに出場し決勝まで進みましたが惜しくも負け、2位になりました。7月に行われる四国大会に出場することになりました。順調に伸びていって欲しいと思いつつ、送迎に一役買っています。」

ソバハニ会員「先週土曜日に友好クラブである那覇南RCが毎年行っているアースデイ行事(サンゴの植樹)に参加し、太平洋でダイビングしてきました。来年は皆様一緒に行きましよう。おかげさまで。」

白井会員「お誕生日プレゼントありがとうございます。今年1年も健康で楽しい1年になる様精進してまいります。」

計¥14,000 合計¥483,800

会員掲示板

- メークアップ/13名
- ビクター/0名

ロータリーソング「奉仕の理想」
ソングリーダー「三木会員」

2023-24年度

第6回クラブ協議会・次年度第1回クラブ協議会
5月22日 第42回

日時／令和6年5月22日(水)18:30～
場所／JRホテルクレメント高松

会長挨拶 会長 熊田 浩

先週土曜日、徳島で地区大会が開催されました。当クラブか



らは12名が登録、地区全体では73クラブ1433名の登録があり、地区内会員の約半数の登録でした。本会議前に、会長・幹事協議会があり、前年度地区会計決算に関して、繰越金の大幅減少について直前ガバナーが責任を取り、今後3年間の「ゾーン、地区」の役職を辞退するとの報告がありました。ポリオのテレビ放映が予算化されていなかった事が主因ですが、あらかじめ予算化すべきだったという事に尽きるので、今後のガバナー事務所運営の教訓としようとの事でした。次年度の地区分担金について、値上げの検討もしていたようですが、まずは地区会計の信頼回復のため、次年度の分担金は本年と同額のままととなりました。本大会は1日開催で大会冊子もプログラムが記されたチラシのみという経費節減の努力が窺い知れる質素なものでしたが、大会記念事業として寄付をした、子どもが犬を相手に本を読むという読書犬によるアニマルセラピーには、多少興味を持ちました。懇親会では他クラブの会員とも、親睦を深める事が出来ました。懇親会のフィナーレは徳島定番の阿波踊りで盛り上がりました。来年の地区大会は地元開催で、全員登録ですので、多くの会員に参加していただければ幸いです。

2024-25年度 会長方針 高松南ロータリークラブ第68代会長 **多田耕三**
全会員がそれぞれの奉仕をかたちにしよう

ほぼ50年間変わっていないのであれば、変化の激しい現代でははずみが出てくるのではないのでしょうか？RIのアーチック会長が2025-26年度より「テーマやテーマロゴを廃止し、世界・地域社会、自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために人びとが手を取り合って行動する世界を目指している」と変化の年のスタートを宣言されました。

私は、今までのロータリーのやり方を否定するのではなく、現代に受け入れられるやり方に進化させていくことが必要ではないかと思えます。例えば、奉仕活動は、規模に関係なく身近な奉仕活動にも積極的に参加していくとか、米山やロータリー財団への寄付もたとえ少額でも、毎年全員が寄付をすることです。

クラブ運営では、委員会の委員長だけが、計画実施するのではなく、委員のメンバー全員が役割分担して計画を実行すれば、奉仕への参加意識が高まり、ロータリアンとしての意義ももっと感じられるのではないのでしょうか？ゴルフ・野球・釣りだけではなく趣味の合う仲間ですスポーツやレクリエーションをするなど、未組織の同好会的あつまりを新しく増やすこともよいのではないかと考えています。

ロータリーは上下関係がない、ロータリソング通り「友垣」です。志を同じくする仲間同士であるという素晴らしい関係です。「利己心」（自分だけ良ければよい心）を少しでも抑えて、「利他心」（世のため人のため）の心の割合を少しでも増やすために、ロータリーの奉仕活動に参加する。参加できなかったときは、できる範囲で寄付をする。結果、世のため人のためになり、楽しいクラブ運営になるのだと確信しています。

このような考えのもと、本年度のクラブのテーマは、「全会員がそれぞれの奉仕をかたちにしよう」としました。やらされるのではなく、能動的にかかわる会員の皆様とともに居心地のよい明るいクラブであり続けられるよう努めてまいりますので、会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

活動に参加しない（ゼロ活動の）人をゼロにする（ゼロゼロ運動）

第6回クラブ協議会委員会報告



クラブ奉仕・プログラム委員会報告 多田委員長
 会員増強・職業分類委員会報告 岡村副委員長
 会員選考・ロータリー情報委員会報告 今城委員長
 会報・広報・雑誌委員会報告 増尾委員長



親睦活動委員会報告 吉田(直)委員長
 職業奉仕委員会報告 詫間委員長
 社会奉仕委員会報告 中村(耕)委員長
 国際奉仕委員会報告 岡委員長



米山奨学委員会報告 小野委員長
 青少年奉仕委員会報告 山田委員長
 戦略計画委員会報告 田中(弘)委員長
 SAA 委員会報告 宮本委員長



研修リーダー委員会報告 中村(秀)委員長
 鎌倉芳太郎顕彰プロジェクト委員会報告 堀委員長



ニコニコ箱

田中(理)会員「開会に間に合わず申し訳ありませんでした。週末の一日会、ご参加の方よろしくお願ひします。」

宮本会員「地区大会ゴルフ、ハンディが飛び賞を頂きました。同伴メンバーに恵まれました。」

計¥4,000 合計¥487,800

会員掲示板

- メイクアップ/5名
- ピジター/0名

ロータリーソング「それでこそロータリー」
 ソングリーダー「村上会員」

2023-24年度

5月29日 第43回

日時/令和6年5月29日(水)12:30~

場所/JRホテルクレメント高松

会長挨拶

会長 **熊田 浩**

3月末決算企業の株主総会シーズンになりますが、株主総会招集通知を詳細に読んでみると、経営の参考になる事項もあるので、一つだけ紹介します。日本企業として、初の営業利益5兆円越えのトヨタ自動車についてです。今年1月に、ダイハツや豊田自動織機の品質不正を公表した後に発表した、トヨタグループの「ビジョン」について紹介します。『トヨタのビジョンは、「次の道を発明しよう」というものです。トヨタグループの創始者、豊田佐吉は「苦勞する母親を少しでも楽にしたい」という思いで、「豊田式木製人力織機」を発明しました。豊田喜一郎は「日本人の頭と腕で自動車工業を興さねばならない」との想いで「国産乗用車」を発明しました。誰かを想い、

学び、技を磨き、ものをつくり、人を笑顔にする。発明への情熱と姿勢こそ、トヨタグループの原点です。正解のない時代に、互いに「ありがとう」と言い合える風土を築き、多様な人材が活躍し、未来に必要とされるトヨタグループを目指してまいります。』とあります。『誰かを想い、人を笑顔にする。』、『互いに「ありがとう」と言い合える風土を築く』というフレーズに感動しました。企業だけでなく、ロータリークラブも含めたあらゆる組織にも適用できる普遍的な素晴らしい価値観だと思うので、会員の皆さんも是非、参考にしていただけたらと思います。

客話

特定非営利活動法人さぬき茶の湯文化潜思 理事長 松木孝和 様



茶道・伝統工芸の未来

高松は工芸の盛んな土地柄とされ、中でも漆を用いた漆芸は高松藩の庇護ののちに城下の職人の間で進化して独特の発達を遂げてきました。

高松で見られる特徴的な漆芸は他の地域の加飾方法に比べ厚く塗り重ねて立体的な表現をすることが特徴で、蒔髷、彫漆および存清と呼ばれる三つの技法がそれにあたります。蒔髷は塗り重ねた漆を彫ってそこに別の色の漆を塗り込めて磨ぎ出す、彫漆は塗り重ねる漆の色を工夫することによって彫った時に様々な紋様が掘り出される、存清は漆の絵を立体的に塗り重ねていきその縁を彫って埋めたものです。

複数の人間国宝の方が活動している高松ですが、地元での認

知度が決して高いとは言えず、実は簡単にわかる三技法の特徴も見極める事ができる方が少ないのが現状です。そのため地元でも消費の需要が少なくその技術を引きつぐこともだんだん困難となり、今では県立の漆芸研究所がその頼りになっています。

しかし、民間たる我々の力でも何とか助力したいと思うのは地元の人間の矜持だろうと思います。私もその一人で、なんとか高松の漆芸を知っていただくために直島で漆芸紹介ギャラリーを開始し、漆芸家を目指す若手の作家さんを応援するため高松市内で小さな工房を始めました。

時間のある時にでもぜひ皆様も直に触れていただき、その技術の維持に思いを馳せて地元の技術や文化を応援していただけたら幸いです。

- ・直島香川漆芸ギャラリー 彩
- ・高松漆芸工房 八島扇堂 瀬戸蝶兵衛 ※共にInstagramにて

ニコニコ箱

高松北ロータリー 会長 渡辺昌明様
幹事 小川和成様 「お世話になりました。」

ビジター
2023-24年度ロータリー財団地区補助金奨学生 鈴木恵夢さん
計¥10,000 合計¥497,800

会員掲示板

- メークアップ/22名
- ビジター/1名

ロータリーソング「四つのテスト」
ソングリーダー「三木会員」

2024年6月 ロータリー親睦活動月間

No.	日	時間	場所	例会プログラムおよびその他	備考
44	5	12:30~	JRホテルクレメント高松	客話「能登半島地震について」 自衛隊香川地方協力本部 本部長 上田俊博様	
45	12	18:30~	JRホテルクレメント高松	第7回クラブ協議会 次年度第2回クラブ協議会	(夜間)
46	19	12:30~	JRホテルクレメント高松	第8回クラブ協議会 (5大奉仕活動実績報告)	
		13:30~		定例理事役員会	
47	26	12:30~	JRホテルクレメント高松	最終例会「故 太田英章会員を偲ぶ」	

編集後記

交友や仕事上で、相手にわかりやすくかいつまんで話のできるひとは「効率的な考えができる人」として伝達能力の高さや、仕事の成果を高く評価されるでしょう。この効率的な考えは、数学的思考とよく言われており、数学の勉強の重要性を表しています。

その数学と労働安全が密接に結びついているのが「玉掛け技能」です。毎月のように講習会が開催されています。重い荷物を荷崩れさすことなく安全に運搬するには、重心の位置取りから支点の位置取りを「カンに裏打ちされた」数理的思考が絶対的に必要とされます。玉掛けの技能はこれから一層重要性をまします。次々と耐用年数を迎える超高層ビルの解体工事で活躍するのが

玉掛け技能です。解体工事現場の安全はしっかりとした玉掛け技能とそれを吊り上げ下げするクレーン作業です。その姿は、奉仕の理想に裏打ちされたロータリアンの望みは久遠の平和に向けて歯車を力強く、着実に廻していく力合わせ知恵あわせ、そのものでしょう。「天の時、地の利、そして人の和」を、私たちロータリアンにもたらしてくれる「運」と「縁」そして「ロータリー仲間」ウーンちょっと場違いかもしれませんが、253世天台宗座主の言葉「明るく（行く道が明確であること）、楽しく（心身ともに健やかであること）、たくましく（何事においても続けることの大切さ）」を指し示しています。そんなこんなを纏める6月号です。ご一読ください。（編集子）